

埼玉印だより

第100号 平成18(2006)年11月20日発行

発行：埼玉県印刷工業組合広報委員会 ☎360-0031 熊谷市末広1-63 ☎ 048 (524) 4186 FAX 048 (524) 7680

URL <http://www.saipia.net>

E-mail saiinkou@orion.ocn.ne.jp



彩の国くまがやドームと熊谷市産業祭

写真提供：深町満夫氏〔㈱深谷カーボン 取締役会長〕

印刷：(株)三興社印刷所 (熊谷支部)

[用紙提供：埼玉会]

副理事長雑感

埼玉工組 教育・労務委員長 **新井正敏**



埼玉工組の教育・労務を担当しております副理事長の新井でございます。組合員の皆様には日頃より組合活動にご協力を頂き有難うございます。紙面をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

埼玉工組は、新理事長以下副理事長5名、専務理事1名計7名で8つの委員会を運営、活動しております。埼玉工の役員会のほかに関東5県印友会、関東10県組合の大会、全印工連の全国大会等、各地の仲間との勉強会、情報交換、分科会の委員会活動しております。昨今の厳しい印刷環境をいかに良い方向に改善、改革していくかが毎回のテーマになっております。それらを組合員の皆様に具体的に発信して、業界の為になるようにと役員全員で考えております。埼玉工だより、埼玉工ホームページ、日本の印刷等、是非ご覧いただき、また、ご意見もお寄せください。

さて、担当しております教育・労務委員会では、「企業は人なり」と申しますが、会社規模は別としましても、会社と社員が目標に向かい一体となり、一人一人が活躍できてこそ、目標が達成されるのではないのでしょうか。各社が、将来の印刷／メディア文化に希望を持てるようにしてゆきたいと考えております。

教育面では経営者セミナー、営業マン教育、各オペレーター教育等を開催し、また、労務面では雇用情報、年金問題、定年後の継続雇用問題をテーマに講演会も開いております。新年会や総会では飲食の交流だけではなく、セミナー、勉強会を併せて催し好評を得ています。やはり、良き人材を育てながら厳しさの中ではありますが、この変化の早い時代をしっかりと歩んで目標達成に向け協力して頑張っていきたいと思います。そのような考えておりますのでお忙しいとは思いますが、積極的に組合活動にご参加いただきたいと思います。お待ちしております。

副理事長退任のご挨拶

㈱三興社印刷所 代表取締役 **大川竹夫**



この度、一身上の都合により副理事長を退任いたしました。長い間、いろいろとお世話になり、感謝申し上げます。今後は相談役として微力ながら協力して参りますので、引き続き宜しくお願い致します。

思えば平成2年に副理事長に就任し、構造改革委員会、業界計画研究委員会、マーケティング委員会、共済事業委員会を歴任いたしました。

印刷業界を取り巻く環境は、就任当時と比べて過当競争による安値受注、デジタル化の急激な進歩・普及等々、大きく変化しています。その中において埼玉県印刷工業組合は、組合員の減少やその他の要因により組合

運営は厳しくなってきました。

また、官公需については最低制限価格制度の導入、県内企業優先発注等を県に対して要望しております。これらの導入の推進、また、これに伴う諸問題の解決には、理事長を先頭にして役員・組合員が一丸となって団結し、協力していくことが必要だと思われま。各企業が努力していく事が勿論一番大切ですが、業界の環境変化に対応するために、組合で出来ることは強力に進める必要があると感じます。

来年は、埼玉県印刷工業組合設立50周年を迎えます。半世紀という記念すべき通過点において、諸先輩達の足跡を振り返り、更に将来に向けてより発展するよう、お互いに努力致しましょう。

●洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を●

埼玉洋紙会 会員

武正進 (株) 代表取締役社長
〒367-0047 本庄市前原一三二五
☎ 0495-241171

アサナカ 紙商事 (株) 代表取締役社長
〒350-0856 川越市問屋町四一
☎ 049-224511

石井 紙販 (株) 代表取締役
〒339-0861 川口市柳崎三九七
☎ 048-2613333(代)

埼玉 紙業 (株) 代表取締役社長
〒361-0076 行田市天満一五〇
☎ 048-5564401

溝口 洋紙 (株) 代表取締役社長
〒330-0004 さいたま市見沼区御町一三三
☎ 048-685071

大塚 紙店 代表取締役社長
〒356-0328 比企郡小川町大塚二〇八
☎ 0493-720030

河内屋紙 (株) 深谷支店 代表取締役
〒114-0023 東京都北区滝野川七四八十八
☎ 03-39160261

吉岡 代表取締役
〒356-0011 ふじみ野市福岡五六二
☎ 049-2534985

産業功労賞 (平成18年度県民の日) 受賞に浴して

理事長 新 精 一

「明治4年11月14日の太政官布告により現在の埼玉県の領域に『埼玉県』と『入間県』の2つの県が誕生しました。『県民の日』はこれを記念して、その100年目に当たる昭和46年に定められました。今年で36回目を迎える「県民の日」は、私たち県民が県の歴史や風土を知り、先人の偉業をしのびながら郷土への愛着を深める日です。この機会に、本県を改めて見つめ直し、埼玉のすばらしさを再発見していただければ幸いです。」と上田知事よりあいさつがあり、11月14日午前11時より式典が始まりました。私は産業功労部門27名の1人として受賞しました。受賞理由は以下の通りです。

「長きにわたり、埼玉県印刷工業組合の理事、常務理事、副理事長、理事長として業界の振興発展に尽力してきた。また業界のリーダーとして指導的役割を果

した。特に委員会活動を中心に各種事業の推進に努め、業界の安全衛生水準の向上や地域高齢者、障害者の雇用推進にも積極的に取り組み、印刷業界の改善発展並びに組合員の経営安定化、合理化に尽力してきた。これらの功績は顕著である。」

これは、埼玉工組各組合員が受けた訳で、埼玉工組が県に認められ受賞できたということです。心よりうれしく、深く感謝申し上げます。

このたびはありがとうございました。



県庁訪問

県物品管理課と面談

10月16日(月)、予てより要望していた最低制限価格制度導入等について進展を図るべく、新理事長以下組合三役並びに古瀬監事が県物品管理課を訪問し、面談した。

席上新理事長から県内における業界の実状を報告し、制度導入に進展が無ければ別な方策も考えなければならないほど事態が逼迫していると窮状を訴え、熟慮の上での回答を求めた。

また、岩淵副理事長より前回の面談で要望していた問題のうち、特に最低制限価格制度導入と中間成果物の取り扱いについて、書面により他の自治体の導入状況などを明示して導入の早期実現を再度申し入れた。

それに対して県物品管理課関根課長より、応札参加者が適正価格での応札をするよう努めて欲しい、価格

競争体質ではなく独自性のある企業体質を構築して欲しい。また、他県の導入状況を調査した結果では、必ずしも目的通り機能していないとして、最低制限価格制度導入は困難である旨回答があった。

質疑では、価格調整などは業界内では不可能(資本主義経済上、公正取引上等により)、県内事業者に対する発注状況の詳細な情報公開、予定価格の事後公表、適正価格の根拠、応札時の積算書添付義務付け、佐賀県における価格の改善と予定価格の事後公開の実態調査要望、最低制限価格制度導入に代わる埼玉方式導入の是非などが話し合われた結果、物品管理課から積算表の添付、予定価格の事後公表、佐賀県の実態調査、埼玉方式の導入などを検討するとの回答を得た。

PP貼り／フィルム圧着はがきシステムの — KDK

対応!

オンデマンド印刷～
オフセット印刷～

A3ワイドで薄紙から厚紙までの汎用性。

フィルム方式だから少量ロット～
大量ロットまで必要量を自由処理可能!

● 1台でフィルム圧着ハガキ、圧着封書全てが揃う…

● 搬出しPPラミネート加工もできる～

● コンパクト両面同時ラミネーターで大型機以上の機能と効率

世界初、小型全自動両面同時ラミネーター

ハガキ両面ラミネーター
SR-1500 PAT.P

(幅)760×(長)1350×(高)1180mm

● 抜き取り校正も可能。その場で再撮影できます。

● ビジネスフォーム用

ニスによる厚紙から解消、健康な「ハガキ」づくりを

連続フォーム用フィルム圧着ハガキ量産機

ビーエフシーラー
BF-2000 PAT.P

(長)3330×(幅)700×(高)1040mm

● 菊半裁から～

● 高速20m～低速6m

● 自由に移動可能! コンパクトサイズ

新発売

本体 (幅)900×(長)2000×(高)1400mm

シューター (長)800×(高)700mm

中型全自動ラミネーター

ラミエース
PAT.P

KDK ケイディケー株式会社

京都市南区西九条比叡町71 TEL. 075-671-7158代 FAX. 075-671-7821

● お問い合わせ先 — 営業部迄

〈メンテナンスは責任ある安全保証付です〉

鼎談 歴代理事長、それぞれに時代を語る

～「埼玉工だより」第100号を記念して～

◇鼎談出席者

森田栄一 第5代理事長(さいたま市)・現組合顧問
 中村照雄 第8代理事長(川越市)・現組合顧問
 新 精一 現理事長(第9代)
 司会 櫻井豊喜 専務理事・広報委員長
 記録 小倉新一 広報委員会

司会：本日は我が埼玉県印刷工業組合(以下、埼玉工組と称す)の歴代理事長さんにお越しいただき、現理事長の新さんと「鼎談」としゃれこんで自由なおしゃべりをしていただこうと企画いたしました。歴代理事長さんといっても、我が埼玉工組創立(昭和32年9月)以降の理事長さんは現役新さんが9代で、6人の方々亡くなっておられる、で残る理事長経験者は本日出席願った森田栄一さん(5代)と中村照雄さん(8代)のお二人ということになります(別表歴代理事長一覧参照)。ちょっと淋しいことです。森田さんは大正6年生れで現在89歳、体調万全とは言えないということで出席どうしたものかとおっしゃっておられたのですが、無理を押ししておいでいただきました。「埼玉工だより」100号を記念して企画したテーマでしたが、「鼎談かろうじて成立」というところです。

歴代理事長一覧

平成18年10月現在

	氏名	社名	就任	退任	任期	逝去
初代	今津健之助	(有)今津印刷所	昭和33年	昭和47年	15年	昭和47年9月
2代	大川 麗	(株)三興社印刷所	47年	50年	3年	平成4年10月4日
3代	小幡 良	行田紙業印刷(有)	50年	55年	5年	平成2年8月28日
4代	金井菊治	金井印刷工業(株)	55年	58年	3年	平成7年9月3日
5代	森田栄一	(有)新栄社印刷所	58年	平成2年	7年	
6代	市川銀平	(株)太洋社印刷所	平成2年	4年	2年	平成5年6月11日
7代	古内光義	古内印刷(有)	4年	12年	8年	平成14年7月20日
8代	中村照雄	(有)中村印刷	12年	14年	2年	
9代	新 精一	たつみ印刷(株)	14年		5年目	

さて、前置が長くなりましたが、組合活動、組合運営で何かと「顧問、顧問」とご意見伺ってお手数かけていますが、本日はそれらのことも思い出していただきながら、来年には創立50周年、半世紀となる歴史を振り返って忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。まずは現理事長新さんにご挨拶を兼ねて一言お願いします。

全印工連も埼玉工組も苦況に喘ぐ

新：本日は「埼玉工だより」100号記念企画でお越しいただき、ありがとうございます。我が工組で今残る理事長経験者の大切なお二人です。組合のためにも今後、長く元気で存命下さい。といいながら、中小零細印刷業者は今歴史の大転換の中で苦況に喘いでおります。郵政公社は年末にむけこれまで55億枚だった年賀状の販売を37億枚に減らしました。33%減です。その影響を被るのはすべて中小零細印刷業者です。若年層はメールやネットで年頭あいさつを交し、紙の年賀状は使いません。またコンビニで買ってきた出来合いの年賀状に宛先、自分の住所をパソコンで打ち出して投函します。印刷所の厄介になる部分はなくなりました。印刷産業の売上げ9兆円は6.5～7兆円に減じたと言われてますが、大手の売上げは減っていないので、これもまた中小零細業が減った部分を被っています。全印工連の組合員数が12,000社から7,400社に減じ、財政も年2,000万円の出る赤字予算になっています。抜本解決が迫られています。全国大会を2年に1回とする、会議出席の旅費も本部負担を削減して単位工組負担にする等々の対策がとられています。埼玉工組でも、ここ数年職員の退職

積立金を取り崩したり、国の補助事業に取り組んでやりくりしてきています。それも終了して、これから一層厳しい対応に迫られます。当工組組合員数も金井理事長時代の255社(昭和55年)をピークに減少傾向をたどり、平成18年度は120社を切るかもしれません。

中村：100社を切る時代が到来するのでしょうか。

新：そんな中で平成19年、来年は組合創立50周年(1957年～2007年)を迎えて是非記念事業を実施したいと思っています。記念誌の発行、記念式典の開催、組合功労者、永年勤続者の表彰、組合員・家族の長寿者表彰をやりたいですね。財源がありませんから、関連業にご寄付をお願いするとか、地域や組合員の皆様からも広く浄財を募ることになりましょうか。

時代の変化が早すぎる、そのスピードについていけない

中村：何しろ変化のスピードが早すぎる。我々印刷業にも昔活版からオフセットへの大変革があった。印刷の方式が変わり、これまで使っていた設備が全く不要になり、新規の設備を導入しなければならなくなった。その渦中において大変な変革だと思った。構造改善事業として組合一丸となって取り組んだ。それでも今から振り返ればこの変化は10～15年という時間の中でなし遂げられていった変化であった。大体がそれぞれの事業所の規模に応じてこの変革に対応していくことができた。それがどうです。この今のすさまじい変わりようは……。時間も今は3～4年でぐるり一回り変わってしまう、そんな感じですね。印刷物、それぞれに必要なとして頼みにきていた端物印刷といったものがめっきり減ってしまった。注文や見積り問い合わせの電話の鳴る回数が極端に減ってしまった。

司会：確にかかってくる電話の数がめっきり減りましたね。店にいてそれは実感しています。今のIT革命というか、情報、メディアの変革が我々印刷産業になだれ込んで来て、機器の設備や利用の仕方については、これまでの印刷物注文者と我々業者との垣根をすっかり



とり払ってしまった。発注者の方が技術的に上ということがいくらかもある。お客さんに言われてソフトを次々買い揃えていたのではたまったものでない。完全な過剰設備ということになる。しかもそうした設備やソフトの有効年限が限りなく短くなって、気がついたら廃棄機器の山ということになりかねない。IT機器は印刷業にも数々の革命をもたらしたが、本来それらは印刷産業の外で生れ発展してきたものである。利用、導入に当っては慎重さと先を見極める判断力が要求される。難しいことです。

中村：従来300～400件の得意先があったのですが、今は川越市内ほとんどなくなりましたですね。今は遠くの、どちらかという大口のところが残っていて、そこで企画段階からきちっと打合せして制作に入っていますね。カミサンなどはまだ時代の変革がきちんと押えられなくて、「これまで注文もらっていたところどんどん回ればいいのに」と言ったりしていますが、回っても仕事は出ないんですね。内製化ということもあります。出なくなったことだけは確実です。

森田：電話のかかってくる回数が減ったのは全く同感です。通りがかりに店に入って見本帳を眺めたり、年賀状の季節がきたなど感じたものですが、今はもう店内に入って来る人も滅多にありません。年にとって耳が遠くなった者には助かりますが…。大正6年生れて89歳になりました。来年7月には90の大台です。それでもなお午前中はお店に出ています。先の、時代の変化が早いというのはとても感じますね。私などはとっくに取り残されていますが…。それと最近では遠い北海道や九州鹿児島といったところから、DMが届いたりFAXが送られたり、もう地域で仕事するという感覚でないですね。仕事があれば全国どこでもということですね。中村さんの話、実感しています。

30周年、ディズニーランドが喜ばれました

森田：周年記念事業といえば、私の代のとき、丁度30周年を迎えました(昭和62年)。この節目をどう祝うかということで役員会を何度か開いて、(1)組合員、関連業者参加してのノーザンカントリークラブでのゴルフコンペ(10月12日)、(2)従業員、家族を招待してのディズニーランド遊覧バスハイク(10月18日)、そして(3)大宮清水園での式典挙(10月24日)という内容で実施しました。ゴルフ大会の表彰式は式典の中で行う、是非式典において下さいと人数増の工夫をしました。家族遊覧のディズニーランドはことのほか喜ばれました。大型バス2台、74名の参加でした。この頃は経済がバブル期で、記念事業に対する関連業、保険会社等からの協力



(資金協賛)がいろいろあって事業がしやすかったのも大いに幸いしたでしょうか。その点、来年は50周年という大きな節目ながら、財政面が大変厳しいようですので、役員の方には大変ご苦勞なことです。ご同情申し上げます。

「自前の館」印刷会館は幻に終わったが……

森田：埼玉工組50年の歴史の中で消し去ることの出来ないのが印刷会館の建設です。「自前の館」をもちたい希望、願いは昔からあったが、それが一気に具体化して、昭和60年の通常総会に、「埼玉県印刷会館」建設実行委員会設置案が上程され、可決承認された。私(森田)が総轄責任者となり、副理事長古内さんが実行委員長となった。熊谷に集っての役員会、実行委員会での協議、稟議だけでなく、支部を回ろうということで、それぞれ集ってもらって支部会議に臨んだ。70～80%は賛成だったが、20～30%が首をたてに振らなかったもので、最終的に断念した。5階建ての図面もできていたのだが幻となった。保険会社や材料屋さん(関連業)ほか数社がテナントとして申込むとか土地もほぼ決まっていたので、着工寸前までいった話だったのですけどね。が、当時の組合員数、241社の力を背景にしての事業、その後20年以上が経過して、今120社というとき、組合の負担はどうだったろうか。当時の材料屋さんが倒産・廃業している現状で、断念しておいてよかったのか、そんな考えも頭をよぎります。

印刷会館 完成予想図



これからの進むべき道——組合と組合員

新：前段で私は暗い材料ばかり並べたが、そしてそれが我々の前途を阻もうとしているが、我々は負けてはならない。工夫に工夫を重ねて、「埼玉工組」という城を守っていかねばならない。関東五県や関東10県(関東甲信越静)の集りにいくと、「埼玉さんは皆さん仲がよくていいですね」と言われる。それは埼玉工組の昔からの伝統だった。今県に対し「最低制限価格」での入札を強く申入れているし、中小企業団体中央会からは組合受注の形で年間1,000万円の仕事もいただいている。会社の外では営業上の競争相手でも、組合という枠の中ではその鎧を脱いで情報交換ができる。「会社と組合は二人三脚」をモットーに頑張ってみませんか。

中村：私は東京から川越にやってきて印刷会社を立ち上げました。40年の歴史はほとんど組合と重なります。その中で多くの友人を得ました。昔話になりますが、誰々さんとどこへ行った、誰々さんとあそこへ行ったという、全印工連大会にことよせての旅の思い出が一杯あります。その楽しい思い出を胸に抱きながら、これ

からも組合活動に少しでも力になりたいと思っています。

森田：これも昔（昭和49年7月）、第10回の参議院選挙があって、かつて全印工連の事務長を務めた井上計氏が全国区から立候補した。そして全国の各県印工組が選挙応援した。その中で無証紙ポスター掲示違反で埼玉印工組は逮捕者を出した（私も）。時の理事長 大川 麗さんが一番の犠牲者だった。違反の事実を抹殺するわけで

はないが、組織の責任者として罪をかぶり、長い年月の組合活動や地域・ロータリーの活動実績も生きないで、国家褒賞を授かることがなかった。私はそのことを大変残念に思う。新理事長さん、頑張ってください。十分その値いはありますよ。

司会：それでは、大分あちこち脱線しましたが、これで「埼玉工だより100号記念・歴代理事長と時代を語る」を終ります。

関東甲信越静地区印刷協議会開催される

7月7日(金)、第54回年次大会が新潟に於いて開催され、新理事長をはじめ組合三役が出席した。

全体会議では、開会のことば、議長団選出、議事の審議と進み、提案議事の全件を承認したあと、全印工連石井事務局長から業界の現況報告として、全印工連18年度事業計画、官公需入札制度改善に対する各地の取り組み状況、警察庁から要請されている貸金業者の違法広告排除などについて報告がなされた。続いて全印工連経営革新・マーケティング委員会水上委員長から「業態変革推進プラン—2008計画」における第2ステージのテーマである「原点回帰」についての詳細な説明並びに10月に開催する全国大会で提案されるであろう第3ステージ「新創業」についての話があって、全体会議を終了した。

次に分科会が各委員会ごとに開催され、討議結果が報告(別掲)され、特別宣言(別掲)を採択して式典に移った。

式典は、開式宣言、国歌斉唱、物故者に対して黙祷を行い、印刷産業人綱領唱和、歓迎の挨拶とつづき、地区協議会堀会長が「昨年10月に開催した全国大会は災害復興支援と全印工連創立50周年記念式典を冠していただき、印刷業界の情報発信として延べ5,000人を動員し、その役割を果たせたのは地区協議会各県の協力の賜物であると礼を述べた後、一部のマスコミから官公需取引について誘導的報道がされているが、企業倫理の確立、法令遵守など社会的責任を果たしていると確信している。これからも印刷産業人綱領の精神を益々高めてゆかなければならない。本大会において公正取引継続の特別宣言を採択して更なる活動の指針としたい。今我々は、『2005計画』をベースに『2008計画』へと進み、各自が生き残りを掛けて自社の経営資源の見直しをしているさ中であるが、更に深化させなければならない。官公需問題については県から地区へ、地区から全国へと連携を強めて行かなければならない。」と挨拶した。



続いて、来賓紹介、来賓祝辞、各県理事長紹介、退任役員に対する感謝状並びに記念品贈呈が行われ、当工組からは大川竹夫元副理事長(現相談役)が授受した。最後に次期開催県を長野県と決定し、長野工組倉田副理事長から歓迎の意を込めた挨拶が行われ、式典を終了した。

懇親会は、新潟県工組堀理事長による歓迎のことばにつづいて、来賓として出席された新潟県関根副知事が行政施策の一部や県内の観光案内を含めた挨拶があり、新潟市産業経済局長の挨拶の後鏡開きと続き、新潟県中央会和田専務理事の乾杯で開宴となった。アトラクションとして新潟古町のきれいどころによる歌舞を楽しみながら、情報交換やお互いの労をねぎらい談笑する中、中締めが行われ、全ての行事が終了した。

特別宣言

昨今、官公需において一部のマスコミにより、私たち業界に対して、公正な取引を疑わせるような誘導的報道がされました。

当業界におきましては、永年にわたり正当・適切な文化伝承と社会貢献を使命とし、誇りを持って、法的側面の遵守を旨として『印刷人綱領』に則り、企業倫理は勿論のこと、品質保証、安心・安全、環境保全等の社会的責任を果たしております。

本大会を機に、改めて当業界の伝統と誇りにかけて、引き続き『公正な取引』を行っていくことをここに宣言いたします。

理事長会・分科会報告(各委員会検討結果の報告)

「理事長会」

1. 特別宣言について
2. 官公需対策について
 - ・製造物請負(最低価格制限・低価格調査制度)の導入
 - ・発注先の地域制限
 - ・知的財産権の保護
 - ・問題点として積算・仕様書の統一・環境・品質検査など、要解決

「組織委員会」

- ・対外PRについて。魅力ある組合活動 他
- 地域とのつながり、社会貢献(年賀状コンテストなど)—

「経営革新・マーケティング委員会」

- ・用紙値上げについて 他

「教育・労務委員会」

- ・経営者研修会、人材育成セミナーの企画提案 他

「環境委員会」

- ・VOC排出抑制自主行動計画について 他

「共済委員会」

- ・各共済制度の概要について 他

青年部だより

賑やかに暑気払いを開催！

8月5日(土)、熊谷市のホテルガーデンパレス内のビアガーデンにおいて、すっかり恒例となった暑気払いを開催しました。

青年部では、いつもは平日にイベントを開催することが多いのですが、「仕事を気にせず、ゆっくりと参加できるように」という趣旨から、試験的に土曜日に実施しました(休日ではご家族に後ろ髪を引かれてしまい、参加しづらい会員も多いのではないか、という

心配もありましたが)。

その結果、20名近い多数の方の参加を頂き、大変賑やかな暑気払いとなりました。

例年どおり、蚊と格闘しながらではありましたが、天候にも恵まれ、また、久しぶりに参加となった会員も多く大変盛り上がり、土曜日開催のイベントは大成功となりました。

副会長 (株)三興社印刷所 大川正行

全青協関東甲信越静・東京ブロック協議会へ参加

9月30日(土)、10月1日(日)の両日、静岡県熱海市にて開催された「全青協ブロック協議会」に、当青年部会から、新、大川の両会員が出席しました。今年度から議員となった新会員は、今回が全青協初参加です。

初めに静岡県工組の柏木理事長の挨拶で開会となり、続いて今年から就任した浦久保議長、次に開催地代表の長田議員による挨拶がありました。

今回はオブザーバー参加を含め24名の登録があり、「こんなに大勢が参加するブロック協議会は初めて。関東はすごい。」と浦久保議長も感心していました。

当日、3時間にわたる会議で協議した事項を簡単に報告します。

①平成18・19年度全青協活動計画について

- ・「色のユニバーサルデザインの概要」

- ・今年度も引き続きCUDを発展させていく
- ・世の中がCUDに関心を持ち始めている
- ・始めた者勝ち、今がチャンス

②CUD手引書およびCUDコンペについて

- ・CUDを意識したデザインコンペを行う
- ・各県10点の出品が目標

③色覚UD支援ツール 東洋インキ

「Color Finder UD」の実演

④第1回PRINTNEXT

および第20回全国協議会について

- ・来年1月27日(土) 宮崎にて開催

最後に、来年のブロック協議会を埼玉にて開催するというお土産を頂いたことをお知らせし、報告といたします。皆さん、ご協力をお願いいたします。

全青協議員 (株)三興社印刷所 大川正行

豊かな新世紀を拓く！

— 新しい時代の『企業づくり』の
アドバイザー —

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業



設楽印刷機材株式会社

本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
 宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
 埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

Human Balance

SHITARA

第9回 ウォーキング大会



気持ち良い朝の空気、最高のウォーキング日和



今日は埼印工組で貸切りね



三々五々、それぞれマイペース

印刷月間恒例行事、2006（第9回）ウォーキング大会が、3年振りにまた武蔵丘陵森林公園に会場を移して実施された。かつて1～6回大会までやっていたところへ戻ってきた懐かしさもさることながら、ウォーキング大会としてはやはりここが最適地との思いが参加した人達にあったのではないか。そんなホッとした安堵感がみんなの心に流れていたように編集子には思えた。

前日までの天候予報は「週末にむけ崩れる」との予想であったが、1日崩れることもなく、時折り雲間から日も射す、まずまずのお天気模様であった。参加者には大変しのぎやすい天候だった。南口広場が集合場所、参加者は263名、新理事長の元気なご挨拶、佐藤実行委員長からの諸注意を聞き、膝・関節をほぐす簡単な準備体操をしてスタート。公園内周回というよ



新理事長、にこやかにご挨拶



やあ、ご苦労さん、ゴールでお土産ですよ

森林公園に戻ってなごやかに実施

9月23日、263名参加

り、往復コースのような感じで、樹林帯、展望広場、ふれあい広場、運動広場、コリウスガーデン等の周辺部を巡った。総コース6 km。12:00がゴール終着目標であったが、ゆっくり組は少し時間オーバー。従来よりは少し距離が長くなったように感じたが。都市緑化植物園（建物側面にも草花をのを見本展示）周囲が折り返し休息場所で、ここで飲物サービスが行われた。先頭組はその準備前にこの地点を通過して飲物を受けとりそこねたとか。ごめんなさいね。子供たちは大型ゴム風船の上で跳びはねを楽しんだり、栗を拾ったりして行事に満足した。また支部や家族単位で手作り弁当、折詰弁当の昼食に舌鼓をうった。



今日はパパと1日一緒、ウキウキだなあ



一休みして、都市緑化植物園の造作に感心する



さ、これから楽しみなお昼のお弁当



私達も今日は頑張って参加したのよ



子どもたちの人数のほうが多いかな。事業所参加の皆さん

全印工連 2006 やまぐち大会開催さる

去る10月19～20日、山口県下関市において、「起こせ維新の風 つかめ業態変革の波」をテーマに全日本印刷フォーラム2006やまぐち大会が開催され、新理事長以下組合三役が参加した。

今回は、昨年までの大会開催と違って各委員会開催形式をとらず、自由参加のフォーラム形式の開催となった。

初日は、まず初めに田原総一郎氏より「メディアの波」と題する、政界の裏事情を含めた活字メディアとテレビなど電子メディアとの特性や違い、これからの見通し等についての講演があり、続く記念式典では、全印工連浅野会長が「業態変革推進プラン—2008計画」の第2ステージ「原点回帰」から第3ステージ「新創業」への転進を提案した。

各来賓祝辞の後、印刷産業発達功労者顕彰、組合功労者顕彰、優良従業員表彰などの表彰が行われ、当組合からは組合功労者顕彰で金井一俊氏（金井印刷工業㈱）、野坂弘幸氏（㈱文林堂印刷所）の2氏が、優良従業員表彰では内海有次氏、関谷しげ子氏、大和田武氏の三名（いずれも関印刷㈱所属）が表彰された。

受賞者代表の謝辞、フォーラム宣言、次期開催県の代表挨拶と続き、記念式典は予定通り終了した。

第2日目は記念シンポジウムが開かれ、浅野会長の基調講演では「国際化、スピード化などの経営環境の変化、中小企業に対する政策転換等、社会全体の変化

に対応する為の2008計画である。第2ステージ『原点回帰』では足元を総点検し、5Sを徹底することで本業の利益を確保拡大する



ことを提案してきた。ここで提案する第3ステージの『新創業』は2つの意味を持っている。ひとつは創業時あるいは創業者が持ったであろう熱きところ、すなわち事業家魂を発揮して欲しいこと、もう1つは変化を予測し仮説を立て投資を図る等、付加価値を高める事業の展開をするという提案である。他動的な変化ではなく、自らが進める変革であることを、強くこころに刻み挑戦して欲しい。」と述べた。

続いて業態変革推進企画室委員長矢部一憲氏による第3ステージ「新創業」の概要説明の後、業態変革推進企画室委員の相馬健一氏によるアクションプラン（5 D o o r s）の説明で記念シンポジウムが終了した。最後に吉田松陰土規七則のひとつ「死而後己（シシテノチャム）＝志を貫くこと」が披瀝され、決意を新たに2日間の全行事を終了した。

受賞のことば

金井印刷工業株式会社

代表取締役社長 金井 一俊

この度、全日本印刷工業組合連合会より全国大会に於いて、組合功労者顕彰を受賞しましたことは誠に光栄であります。これも偏に埼玉県印刷工業組合関係各位のご指導、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。今後も微力ながら組合活動に精進して参ります。

各位の益々のご発展とご健康をお祈り申し上げ、お礼の言葉と致します。ありがとうございました。



株式会社文林堂印刷所

代表取締役 野坂 弘幸

この度、全日本印刷工業組合連合会様より組合功労者として賞を賜り、大変名誉なことと受けとめております。これもひとえに埼印工組歴代理事長様を始め、役員皆様のご指導ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

今後も一役員としてお役に立てるよう努力を重ねて参りたいと思います。ありがとうございました。



機材部 Total Supply for Print 写真製版機材・インキから 印刷機まで全ておまかせ	写真製版部 Assistance for More Comfort 一步リードした製版システム技術 未来型印刷産業をクリエイト
グラフィックアーツシステム部 Consultation for Progress プロフェッショナルな DTP・プリプレス Macintosh からハイエンドシステムまで 業務にあったシステム、設計から運用まで、トータルでサポート 自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。	
株式会社 堀口プロセス機材	
本社 群馬県前橋市1783	営業本部・写真製版部 北群馬郡吉岡町大字小倉字北田451-3 TEL (0279)29-1319 (0279)54-7576 FAX (0279)54-3553
長野事務所 長野市大字東田15 伊藤ビル1F TEL (0262)28-1942 FAX (0262)28-3735	

=経済的で使いやすいレンタルウエス=
 ラフト資材株式会社
 代表取締役 小野義樹
 E-Mail: fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp
 URL: http://www.raft-inc.ne.jp

本社/営業部: 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢4-14-35
 tel: 03-3965-7231 fax: 03-3967-8795
 美里工場: 〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関280-1
 (iso14001 認証取得) tel: 0495-76-1315 fax: 0495-76-2742

第58回 中小企業団体全国大会に参加

平成18年10月19日(木)、渋谷C.C.Lemonホール（渋谷公会堂）において「広げよう連携の絆 新たなる飛躍のとき」をキャッチフレーズに、第58回中小企業団体全国大会が開催され、全国から2,100名が参集した。当組合からは岩淵副理事長、専務理事櫻井が出席した。

大会は、開会宣言、開会挨拶、国歌斉唱、来賓紹介と続き、議事に移った。

議案は「中小企業対策・中小企業連携組織対策の拡充・強化、組合制度のさらなる改善」等、全12項目が一括上程され、米澤秋田県中央会会長の意見発表が行われた後、原案通り可決決定され、大会宣言が採択された。



また、大会では安倍総理大臣のメッセージが読み上げられ、来賓として甘利明経済産業大臣挨拶があり、政党代表挨拶と続き、表彰式に移った。表彰式では、優良組合32組合表彰、組合功労者72名の表彰などが行われた。そのあと大会宣言が読み上げられ、次期開催地が再度東京と発表され、閉会挨拶で大会が終了した。（専務理事 櫻井 豊喜）

個人情報保護に最適! **山櫻**

「ミエナイ白」に新サイズ登場

サイズ	厚さ	仕様
長3	100g/m ²	スミ貼 枠ナシ
洋0 (洋長3)	100g/m ²	カマス貼 枠ナシ
洋0 (洋長3) 窓付き	100g/m ²	カマス貼 窓サイズ 90×45mm

※洋0 (洋長3) カマス2点はフラップが折れていないタイプです。

株式会社 山櫻 大宮支店
〒331-0814 さいたま市北区東大成町2-516
TEL.048-663-1982 FAX.048-663-3510
<http://www.yamazakura.co.jp>

サクライ最高品位機種

OLIVER 75SD/SDP シリーズ

お仕事の幅を広げます!! **B2判ワイド** 登場!

高品位、高精細印刷とともに
最大印刷サイズ 785 × 560 mmを実現

オリバー-275SDP
B2判ワイド2色両面兼用機も
シリーズラインナップに追加!!

オリバー-475SD
B2判ワイド4色印刷機

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138
名古屋営業所 〒451-0084 名古屋市西区上堀越町2-9-1
TEL.(052) 524-5541(代) FAX.(052) 524-5545
大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679
九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670
岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146

ISO 9001・14001認証取得
生産技術本部

「新発売のフォント」も「無料」で追加ご提供します。

オプションも色々。

「1年間単位」のシンプルな年間契約でご提供します。

価格が魅力的?

1年間 1台 「52,500円」のリーズナブルな価格を実現しました。

「プリンタフォント」も発売開始しました。

印刷対応は?

それって本当?

「239全フォント」が自由に使えます。

「Macintosh&Windows」両方に対応。最先端の環境にします!

WindowsもOK?

OS Xは??

さらに安くなるって?

何書体あるの?

「239全フォント」が自由に使えます。

モリスワを使いこなそう。
MORISAWA PASSPORT
www.morisawa-passport.jp

噂はフォントだ!

※使用方法につきましては、エンドユーザライセンスに基づきます。※価格は消費税込です。※2006年5月現在のフォント情報です。

支部だより

熊谷14日会

白川郷・木曾路と飛騨高山散策の旅

9月2日(土)、3日(日)の2日間、熊谷14日会の旅行が行われました。朝6時50分集合、7時出発のはずが、6時半には殆どのメンバーが集合。熊谷の印刷人の何と真面目なことか。メンバーがこの恒例の旅行を、どれほど楽しみにしているか、おわかり頂けると思います。



そんなことで、時間前に出発。すると間もなくして「とりあえず」とビールで乾杯となりました。朝7時から飲むビールは、また格別な味がします。関越、上信越、長野、中央道と、約4時間の道中。高速道路はトイレを気兼ねなく使えるので、ビール党には助かります。車内では、ビデオによる「血液サラサラ映像のまやかし」や「オレオレ詐欺対処法」などの勉強会も行われ、あっと言う間に最初の目的地の奈良井宿に到着。ここは宿場町として栄えた当時の町並みがそのまま残されており、見事な景観でした。名産品を頬張る者あり、カメラを構える者あり。

その後昼食を済ませ、妻籠宿へ。こちらにもまた宿場町ですが、午後になっていたせいか観光客も多く、賑わっていました。駐車場には愛知や大阪方面のナンバーの車も多く、遠くへ来たんだなあ、と実感しました。

そして夕方となり、ほぼ予定通りに宿泊地の下呂温泉に到着。さっと温泉につかり、お待ちかねの宴会となりました。昼間から飲んでいたので、宴会は宴会で飲めるものですね。2次会のカラオケ、3次会のラーメンと、下呂の夜はふけていきました。

2日目。朝食を済ませた一行は飛騨高山へ。朝市の賑わいをくぐりぬけ、国史跡の高山陣屋を見学。その後、人力車に轢かれぬように気をつけながら高山の街を散策しました。

続いてこの旅のハイライトである白川郷へ移動。大きな橋を渡ると別世界が広がっていました。さすがは世界遺産、と感動してしまいました。ひととおり散策した後、地区全体を見渡せそうな丘を発見。アルコールのせいもありフラフラしながら坂を登っていくと、予想通りの絶景ポイントがありました。これで雪でも積もっていたら、すごく幻想的なんですよね。

その後は熊谷へ向かって、ひたすら走る約6時間。大量に買い込んだアルコール類も底をつき、しばし睡眠タイム。熊谷へ到着後、さらに下山祝までこなし、散会となりました。

2日間、事故や怪我もなく、無事にすごせたことは何

よりだったと思います。皆さん、お疲れ様でした。

14日会 (株)三興社印刷所 大川正行

西部印刷工業組合 研修旅行

6月24日(土)から筑波温泉へ、1泊2日で恒例の研修旅行が、飯能支部の幹事役で開催されました。あいにく組合長米山眞澄氏が多忙のため欠席されましたが、多数の皆さんの参加により、梅雨の中休みというか、天候にも恵まれ、いつもながらの楽しい研修旅行ができました。日頃の仕事の疲れも見せず、バスの中、夜の宴会と、不景気知らずの盛り上がりでした。翌日には、水郷佐原で「さっぱ舟」に乗り、良い記念撮影ができました。



飯能支部の幹事さん、ご苦労様でした。

松田印刷 松田

大宮刷機会 南三陸温泉と金華山

大宮刷機会恒例の旅行が7月8日、9日に行われた。参加者15名で快晴の大宮を7時30分、真新しいバスで新車の臭いをプンプンさせながらの出発。会長さんの挨拶に続き車内は賑やかに、呑む人、カラオケで歌う人、寝る人、人生いろいろ……。



早くもバスは昼食会場に到着、食後、すぐ裏にある高さ100mという日本一を誇る仙台天道白衣大観音を参拝、胎内も見学し感動。次に三陸道を経て本日の宿泊地、南三陸温泉ホテル観洋に4時頃到着、露天風呂で疲れを癒し、6時より宴会、海の幸でカラオケ、ダンスと盛り上がった。二次会は中国雑伎団のショーを堪能し就寝。

2日目は9時に仲居さん達の見送る中ホテル観洋を出発。女川港より高速艇で40分金華山に到着。金華山黄金山神社を参拝。又、この神社を『三年続けてお詣りすれば、金に不自由はさせまいすまい』と云われ、多大なる御神徳が得られますとの事である。

野性の鹿も多くすっかり友達になった鹿ともお別れして、昼食地松島に着いた頃には雨がどしゃぶり、お店の方の傘を持ってのお出迎え、食事を済ませて両手にお土産を持ってバスに乗り込み、あとは大宮に向けて東北道をひた走ること数時間、8時頃大宮に到着。道中何のトラブルもなく全員元気に雨の中の解散となった。

高橋印刷製本 高橋小佐治

TAGAKI
ISO9001認証取得

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp



会社めぐり

今は昔

(有)秀明美術印刷社
社長 二重作 明



私が「印刷屋」を始めた時はちょうど30才になった頃だった。昭和38年9月18日、忘れもしないオフセット印刷菊全判の単色機で、あの頃は手差の機械でしかもアオリの機械だった。そして菊全判の断裁機1台で始めたものだった。

私の友人(故人)の西沢氏が東京板橋で印刷業を営んでいて、あの頃だから単色機ばかり4、5台位持っていて、二重作(ふたさん)がやるならこの1台持っていけよと言ひ、安くわけて貰ったものだった。断裁機は女房と二人で貯めた預金から購入して、ここから苦節がはじまっちゃったんだな。それでも将来を夢見て、希望に胸をときめかせながら夢中になって働いたものだった。当時は大宮でオフセット印刷機を主体としての業務は少なく、仕事としてはやりがいがあったかな。紙から始まりインキ諸材料を取り揃えるのも初めての経験で大変だった。その頃にかの西沢氏から電話があって、今日大安吉日だから行くからと一報があり、酒と肴を用意して待っていた。飲みながら将来を夢みて論じ合い楽しいひと

きを過ごしてから、「ふたさん、いい物を持って来たよ」と、額に入った品物をくれた。それは徳川家康公の人生訓であった。

- 1 人の一生は重荷を負いて遠く道を行くがごとし急ぐべからず
- 1 不自由を常と思えば不足なし
- 1 心に望みおこらば困窮したる時を思い出すべし

- 1 堪忍は無事長久の基と思え
- 1 怒は敵と思へ
- 1 勝つ事ばかり知りて負る事知らざるは害その身に至る
- 1 おのれを責めて人を責めるな
- 1 及ばざるは過たるよりまさり

私はこの人生訓の最後の及ばざるは過ぎたるよりまさりのことばが好きでね。印刷屋は色(艶)と見当(トンボ)外にもあるね、で苦労すると昔から言いますが、現在でも合い通じるものがあるのではないのでしょうか。

めまぐるしく変わる印刷業界で生きて行けるのは若い世代の人達で、やれパソコンだのインターネットだのフロッピーだのと言ってはいるけれど、企画そして立案しデザインをして、お得意様に喜ばれる仕事をし、お客様からの見積積算の値段をいただけるよう努力してほしいですね。2世、3世の若い諸君がんばれ、又組合員、役員の皆さんがんばれ、そして乾杯。

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターマシン・伝票丁合

信頼と技術、ガッツなパートナー深谷カーボン



株式会社深谷カーボン

代表取締役 深町 要一

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>

電話 (048) 520-1649代

FAX (048) 520-1410

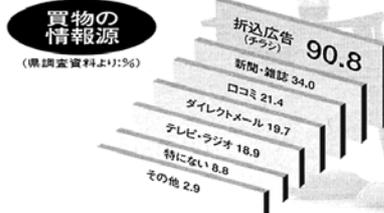
埼玉県熊谷市上川上952-5



折込広告は「生活の情報源」。

Always unique, speedy, and sincere.

新聞とともに鮮度の高い情報を企画から配布までスピーディにきめ細かく対応、より効果的な販売戦略をサポートします。



イマイ・マッピングシステム(地図情報システム)にて、訴求効果の上がる折込配布をご提案致します。

●マーケットボリューム ●商圏自動表示 ●ハフ分析 ●メッシュ分析

IMAI

折込広告・市場調査・総合企画
株式会社 イマイ

TEL.048 (665) 2181 (代)

FAX.048 (666) 7072

埼玉県さいたま市北区泉町150-8 〒331-0622

より広い視野で地域社会と経済の発展を応援します。
私たちは、経営情報提供として

会社めぐり

新創業へ

(有)中村印刷

代表取締役社長 中村 照雄

中村印刷は、昭和39年創業以来『お客様と一緒に創り上げるものづくり』を社是とし、印刷物の可能性を広げてまいりました。

昭和42年11月 川越市に有限会社中村印刷設立。

昭和54年 前社屋を新築。

平成9年 現新社屋を新築。

当時まだ全国でも珍しかった住友3M製スコッチプリントシステムを導入し、デジタル化を進化させた新しいビジネスへチャレンジし、サイン看板、ラッピングバスなど数多く手掛けております。

その間、縁あって埼玉工組第8代目理事長に就任し、2年間に業界発展のため、ベストを尽くしました。

中村印刷は現在十数名の小規模企業です。まさに、一つのチーム(team)です。

社会環境が急速に変化しつつある今の時代を生き抜くためのキーワードは、『得意分野を更に追求し、発展させること』だと確信しております。

当社では企画営業部門、企画制作部門、工場部門の各部門で徹底した専門性を追求しています。それによってお客様に質の高いサービスを提供し、お客様のパートナーとして信頼関係を築きあげています。

以前、ある工務店様より広告チラシのご依頼があり、打合せに伺いました。前回のチラシを拝見すると、型通り作られたもので、結果もそこそこだったようです。

中小企業の経営者・担当者は、皆必死です。何が良いのか悪いのか、ほとんどの方が迷っています。そこでまず現場を何か所か見学させて頂き、他社との比較を行いました。次にクライアント様の特長等を整理してセールスポイントを定め、当社制作部と表現方法等を検討、作成したカンプをプレゼンさせて頂いたところ、大変喜んで頂きました。

一つのプリント媒体が企業の意識を変えられることができると感じました。

草創の頃、妻と二人で開拓したお客様も数多く、当社のベースとなっております。本当に有り難いと感謝しております。

長かったデフレ時代の経営危機を乗り越えた経験から、少数精鋭化・効率化を図り、筋肉質の企業体質への脱皮を目指しています。また、社員一人一人が持つ個性や能力を発揮できる社内環境が自慢です。

これからも、時代の要請をしっかりと捉え、お客様とともに成長し続けていきたいと考えています。



地域の情報発信企業として

(株)文化新聞社

代表取締役専務 吉田 健

当社は昭和26年に、故吉田金八氏により日刊紙「文化新聞」の発行とともに創立され、引き続き昭和36年に印刷事業部が設立されました。

日刊紙「文化新聞」は、創立当時より号を重ね現在では17,000

号を数え、創立者の想いである「地域文化の発展」、地域への「情報の発信」ということに関しては役割を果たしてきております。また近年、幅広い読者の方々要望により、より身近な街の情報源として、タウン誌「ミント」を平成3年に発行、現在まで月1回のペースで埼玉県西部地域におけるタウン誌として定着しております。

さて当社の印刷事業部ですが、設立当初は新聞発行の附帯事業としての位置づけであり、新聞印刷用の活版印刷機を利用していた業務展開でありました。この状況は、昭和38年にオフセット印刷機を導入したことにより大きく変化し、印刷事業部単独での積極的な業務展開となりました。そして、母体である新聞発行業務との関連により、新技術の導入には積極的な姿勢を示していくこととなりました。昭和51年には当時最新型であった電算写植システムを導入し、組版工程を充実させ、また平成5年には、来るべき印刷業のDTP化を見越し、マッキントッシュを導入、続いて大日本スクリーンのΣ(シグマ)システム、次々と新技術を導入してまいりました。ここ数年では、印刷物の小ロット・短納期化に対応する為に、CTPシステムを導入し、フルデジタル化を完成させるに至りました。

さて、技術面においては積極的に新技術を導入してきた当社ではありますが、昨今の社会情勢の激変、業態変革の波の中で、多様化する顧客のニーズにどのように応えていくのかという点が今後当社における課題であります。これからは「マーケティング力」をもち、「企画提案型」の業務展開をはかっていくことが当社の目標になっていくと思います。

当社は印刷事業部・新聞事業部という、情報を扱う大きな2つの車輪に支えられた企業であります。情報を扱うと申しますと、最近では個人情報の取扱という難しい問題もありますが、当社ではPマークを取得することにより積極的に対応し、「地域の情報発信企業」として発展していければと考えております。

最後になりましたが、埼玉県印刷工業組合と組合員の皆様の益々のご発展を祈りつつ結びとさせていただきます。



突然の出来事から

事務局 佐々木千恵子

旅先で怪我をした。応急処置をして帰ってきて、検査、紹介、紹介で入院が決まった。顎を骨折、1週間後に手術、退院は約1ヶ月後との診断。どうも話の様子では、完全に普通の体になるには相当の期間がかかりそうとのこと。ショックでしばらくどうしたらよいか分からなかった。

今まで、料理をするのも掃除をするのも仕事をするのもサッサとスピード感を持ってやるのが私の流儀だった。入院すると何事もゆっくりゆっくり…ペースがのみこめずいららする。ああ仕事、ウォーキングが、テニスが…入院を知らない友達から練習の誘いがある。当分出来ないかと断り、もう二度と一緒に出来ないかも…と思う。

キリスト教流、神は人に耐えられるだけの試練を与える、だからこれは神様の試練だと思って耐えるしかないんだと自分に言い聞かせた。

理事長、専務理事が早速見舞いに来てくださった。仕事は何かするから、治すことに専念するようにと言われて、少しホッとす。

入院2日目からご飯が出なくなった。栄養剤が3本。まずい。我慢して飲むもまずくて1本飲むと次は飲む気にならない。黙って売店に普通の牛乳を買いに行く。普通の牛乳はおいしい。これではいけないと思い、栄養剤を代えてほしいと頼む。ちがう栄養剤にして貰い、それでも何とか1本飲むだけの毎日が続く。

家族にも迷惑をかける。都内に住む子供が度々帰ってくる。優しい子供達だとうれしく思う。子供にいたわられて、ああ子供達は大きくなった、自分は年を取ったな

あと実感する。ゆっくりのペースにだんだん慣れてきて、自分のこれからを考える。

今回の一番の被害者は旦那様であったと思う。元気が取り柄の奥さんだと思っていたのに、1ヶ月間を一人で洗濯、掃除、炊事をやらなければならない、雨戸の開け閉めさえ、こんなに窓があったのだと。ゴミはどう分けるのか、いつ出すのか…たぶん我が家に戻ったら、ほこりだらけの家なんだろうなと想像してみる。

病室の向かいのお婆ちゃん、ご飯が食べられない毎日が続く。寝ているストレスで胃潰瘍になったとか。カーテンしたままで顔は見えていないが、どんどん弱っていくように感じた。ある日、東北弁の看護師がお婆ちゃんを励ましに来た。たぶん勤務終了後だろう、長い間話していた。東北弁はあったかい、ほほえましく聞いていた。次の日からお婆ちゃん、ご飯を食べるようになった。どんどん元気になっていく、なんだかうれしくなった。

入院患者には様々な人がいる。西洋医学は信じないという和漢科の患者がいる。見ていると拒食症のような感じだ。果物は冷える、あれはこうだと、玄米のお茶しか飲まない。食いしん坊の私には、あれでよく生きていくと感心するが、まねは出来ない。私の退院後、彼女は元気になったのだろうか。

退院後も口を開けるリハビリが続く。食べ物の固さに注意深くなる。一気に固い物を食べると嘔み合わせがずれるらしい。人が煎餅を食べる音がうらやましくなる。

最近、いじめにより自殺した子供のことがニュースで度々報じられている。人は生きたくて必死で病気を治すべく努力をしているのに、健康な身体を自分から絶ってしまうのはどんなにつらいだろうか。人を思いやるのが出来ない子供達が多いと思う。今回、家族、友達、上司と、随分励まして貰った。ご恩返しは元気になることだと、リハビリにはげむ毎日である。




DDCPの世代交代、PRIMOJETから。

「インクジェット方式は、本格DDCPには使えない」。そんな「古き時代の観念」を、この正統的な美しさ・頼もしさでファインジェットブルーファァー「PRIMOJET」が、肅然と打ち破ります。

1bit TIFFにフル対応

優れたマッチング精度

モアレも判別できる近似網点

ハイレベルな特色再現性

トータルな色管理に貢献

スピーディーで低コスト



PRIMOJET

ファインジェットブルーファァー

[インクジェット]

富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社 <http://fjgs.fujifilm.co.jp>
 本社 〒101-8452 東京都千代田区神田錦町3丁目13番地 竹橋安田ビル 03(5256)2300



印刷機材の総合商社

KINSEISHA

CO., LTD. 株式会社 錦精社



【機器販売】
 アダストドミナント印刷機械総販売元
 INKDRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
 製版・断裁・製本機械
 印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店
 ◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
 ◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家5-12-16
 ◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

人事往来

- 7月5日(大宮ソニックシティ) 青年部役員会
- 7月7日(ホテルオークラ新潟) 関東甲信越静地区印刷協議会 新理事長 二重作 吉田 新井 佐藤 岩淵各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井
- 7月10日(武蔵丘陵森林公園) ウォーキング大会下見 佐藤組織委員長 櫻井専務理事 事務局出席
- 7月12日(伊香保 福一) 中央会組合トップセミナー 新理事長出席
- 7月27日(埼玉会館) 関東五県厚生年金基金理事会 新理事長 中村顧問 金岡氏出席
- 8月5日(熊谷ガーデンパレス) 青年部暑気払い
- 9月6日(上尾 ころも) 青年部役員会
- 9月8日(熊谷商工会議所) 第2回役員会 組織委員会
- 9月15日(浦和ワシントンホテル) 関東五県厚生年金基金代議員会 新理事長 中村顧問 二重作 佐藤各副理事長 櫻井専務理事 金岡氏出席
- 9月23日(武蔵丘陵森林公園) 第9回親睦ウォーキング大会
- 9月30日(熱海温泉 ほのか) 全青協関東甲信越静・東京ブロック協議会 大川・新両協議員出席
- 10月16日(県庁) 県庁訪問 新理事長 二重作 新井 佐藤 岩淵 各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席
- 10月19日(渋谷公会堂) 中央会全国大会 岩淵副理事長 櫻井専務理事出席
- 10月20~21日(山口 海峡メッセ下関) 全印工連全国大会・山口文化典 新理事長 二重作 吉田 新井 佐藤各副理事長 中村顧問 事務局深井出席 関東甲信越静地区協議会理事長会 新理事長出席
- 10月27日(組合事務所) 広報委員会 新理事長 櫻井委員長 小倉副委員長 飯田委員 事務局出席
- 11月8日(大宮ラフォーレ清水園) 広報委員会企画 新旧理事長鼎談 新理事長 森田 中村顧問 櫻井専務理事 小倉広報副委員長
- 11月8日(大宮ラフォーレ清水園) 中央会創立50周年記念式典 新理事長 二重作 吉田 新井 佐藤 岩淵各副理事長 櫻井専務理事 中村顧問出席
- 11月10日(熊谷ティアラ21「ハートピア」) 第3回役員会
- 11月16日(大阪 太閤園) 全印工連第3回理事会 新理事長出席
- 11月18~19日(仙台 秋保温泉) 青年部研修旅行

新賛助会員紹介

末広印刷(株) 川越工場・三郷工場

〒350-0831

川越市大字府川字東府川1 3 1 1-2

TEL 049-226-3251

FAX 049-226-3256

生産担当 伊藤弘之

訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

9月19日 宮本印刷(川越) 社長 宮本 脩様

11月8日 海野印刷(有)(行田) ご母堂 海野 花様

編集後記

◇「埼玉工だより」が100号になった。第1号は「昭和49年12月5日発行」とされているが、編集子もまだその現物にお目にかかっている。事務局深井さんが工組50周年にむけて、過去の資料がなければ何かと不都合だろうと平成12~13年、「埼玉工だより」を現資料として過去のデータ集計をやって下さった。そのデータ集のあちこちをひっくり返して、今号の「鼎談・歴代理事長とその時代を語る」をまとめ上げた。今見ているのがそのデータ集の中でも最も面倒だったであろう「組合の歩みー沿革・活動状況編」である。そこでもところどころ、バックナンバーの欠番がある。とすると、事務局でも「埼玉工だより」の全号は揃っていないのだ。早い時期にその「欠番」を明示して、組合員の皆さんに借用を呼びかけ、コピーでもなんでもとって原資料の保存をやっておかなければならない。

◇「埼玉工だより」の発刊は昭和49年だが、組合の発足はそれに先だつ昭和32年9月(1957年)である。そして明平成19年(2007年)が50周年である。過日の役員会で9~10月に記念式典ほか50周年記念事業を実施するとの方針が打ち出された。編集子も関係するだろう50周年記念誌の準備、今からとりかかっても遅い位である。他工組の同誌を見たが、細かく50年の歴史が記されていた。発行時点では内容が堅いの、記事が古い(年3回発行!)のと言われても、組合の歴史を語るのはこの「埼玉工だより」を置いて外にない。来れ! 憂士、記念誌編集委員になって、この機に組合50周年の歴史をきちっととどり、活動の総括をしておこう!!

お詫び

事務局佐々木です。8月後半から9月一杯、怪我により入院を余儀なくされ、皆様に大変ご迷惑をおかけ致しました。心よりお詫び申し上げます。ご心配をおかけしましたが、少しずつ快方に向かっています。仕事は復帰しましたが、まだまだ電話での対応、お聞き苦しいと思います、引き続きご迷惑をおかけしております。また、種々励まして頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。

よいものだけを...

ムトウユニパック

MUTOH UNIPACK Co.,LTD. TOKYO

さいたま/埼玉県さいたま市大宮区彩の町1-698-1 ☎048(647)6100 FAX048(644)4414
 本社/東京都江東区永代1-7-12 ☎03(3642)1141 FAX03(3643)6654
 URL:http://www.mutoh-u.co.jp